

「危険の体感と発見の授業」
「やっちゃだめより 危ないの体感が大事！」
 ～身の回りの危険に気づき避ける力を身につけよう！～

安全 **生活** **学級活動**

講師 危険学プロジェクトグループ8

- ①「子どものための危険学」… 自転車の危険、ドアに気をつけて、すべり台の注意など
- ②「デンジャラスたんけんたい」の歌と踊り… 楽しく踊って体で覚えよう！
- ③「粘土を使った実験で危険を体感」… 手をはさんだら？ 高いところから落ちたら？
- ④「デンジャラスたんけんたい」… 身の回りの危険をさがしてみよう！



~~~~~

**【児童の感想】** 下記の丸数字は、それぞれ関連する上記内容です。

- ・わたしはじてん車のスピードにきをつけようとおもいました。じてん車のブレーキがうまくなりたいたからです。①
- ・ドアにねんどのてをはさんで、わたしはどうなるのかなとおもいました。とったときは、てがべたんこでした。とてもいたそうでした。とてもまなべました。③
- ・とびばこからねんどがおちて、もし人だったらこわいなとおもいました。③
- ・わたしは、みのまわりのきけんをたくさんみつけました。いろんなすきまのきけんを、いっぱいきづくことができました。ありがとうございました。④
- ・ぼくは、きけんにきをつけようとおもいました。じぶんでじぶんをまもれるように、よくみてこうどうします。④

**【先生の感想】**

- ・粘土を使った実験では、実際に粘土にさわって、身近に見ることで、自分だったらと、危険をリアルに体感することができました。
- ・子どもたちが自ら身の回りの危険に気づき、事故を防ぐことをねらっている内容なので、主体的に行動する子どもを育てるきっかけとなりました。
- ・出前授業後、教室でも危険を見つけ、友だちに伝える姿が見られました。

~~~~~